

# 浜松歯科衛生士専門学校 学校だより

学校裏の駐車場では桜若葉の緑が美しく萌え、教室に入る薫風もさわやかな季節となりました。第33回歯科衛生士国家試験は、ここ近年で合格率が最も低く92.4%という結果でした。39期生41名は、そのような中で貴重な全員合格をいただくことができました。ご指導いただきました先生方には心より感謝申し上げます。4月に入り42期生44名の新入生を迎え、令和6年度がスタートいたしました。授業も始まり毎日元気な声が聞こえてきます。充実した一年となるよう教職員一同、学生とともに邁進してまいります。



## 3年間を振り返って

39期 村松 莉名  
思い返せば3年前、私たち39期生は、新型コロナウイルス感染症の影響で人々の生活状況が変化している中入学しました。初めて触れる専門用語や器具に戸惑いながらも、同じ目標に向かっていくクラスメイト同士で助け合い、分かる事や出来る事が日々、増えていきました。戴帽式でキャップを戴いた時には、医療に携わる者としての責任と重みを感じ、身の引き締まる思いがいたしました。そして臨床実習が始まり、歯科医師や歯科衛生士の皆様から丁寧なご指導をいただきました。患者様からの「ありがとう。頑張ってるね。」の言葉に励まされ、歯科衛生士という職業の素晴らしさに気付かされました。臨床実習の百十二日間は歯科衛生士としての役割と責任を学び、自分を成長させてくれた貴重な時間となりました。国家試験対策ではわからない事は互いに教え合い、日々真剣に勉強に取り組むことができました。これからは医療従事者の一人として多くの人々の健康を支えていくこととなります。現状に満足せず日々学び続け、地域歯科医療に貢献できるよう尽力して参りたいと思います。



## 誓いの言葉 1年 黒川 結末

春の日差しが煌めく季節と共に、私たちはこの浜松歯科衛生士専門学校で入学式を迎えることができました。私たちの新たな門出にこのような立派な式を開いていただいたことに感謝申し上げます。

私たちが目指す歯科衛生士は歯や口腔のケアを通して幅広い場で活躍し、全身の健康と生き生きとした生活を守ることができる職業です。この職業を通して人々の幸せに貢献できることはこの上なく嬉しいことです。

本日より始まる学校生活では、豊富な知識を蓄えと共にコミュニケーション能力や忍耐力などのスキルを磨いていき、一人前の歯科衛生士になれるよう日々努力を惜みず、勉学に励んでまいります。校長先生ならびに諸先生方、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いたします。

これから浜松歯科衛生士専門学校の生徒であることに誇りを持ち、それぞれが理想とする歯科衛生士となり人々に寄り添い生涯の健康の助けになれるよう精進してまいります。

